

種差海岸で学ぶ 放送大学の面接授業

受講生は九州からも

この面接授業は「環境と生物―種差海岸で考える―」と題した科目で、講師は八戸工業大学基礎教育研究センター准教授の田中義幸先生が務めました。この授業を選択した学生約30名は北東北の方を中心ですが、遠くは九州や関西から駆け付けた方もいました。



放送大学は自宅でも受講できる通信制大学です。テレビやラジオなどで受ける放送授業のほか、実際に先生から教わる面接授業があります。この面接授業が行われるのは教室の中だけではありません。今回は、昨年初夏に2日間わたって八戸市の復興国立公園・種差海岸で開かれた面接授業の様子を取材し、魅力を探りました。

田中先生は「夏に日照不足と低温をもたらすヤマセが影響しているためです」「八戸沖は暖流と寒流がぶつかっているため、さまざまな海藻類が見られるのです」などその場で回答。さらに質問を加えて学生自身に考えさせる「アクティブラーニング」の手法を活用し、環境と生物の関係についての理解をより深めさせました。

種差海岸インフォメーションセンターに集合した学生たちは、田中先生から「持ってきたデジタルカメラで、できるだけたくさん植物を撮影してください」「海藻類の分布をじっくり観察してください」との指示を受けて、広々とした芝生地や岩場を散策。現地で学術調査する「フィールドワーク」を楽しみました。(海藻採集協力：南浜漁協)

「二生忘れられないほど…」
講義は主に野外で行われ、学生たちからは「沿岸部なのになぜ高山植物がたくさん自生しているのですか」「北の海で見られるコンブと南の海で見られるワカメが混在しているのはなぜですか」との質問が飛び出します。



全国各地でユニーク授業

放送大学では、種差海岸のように全国各地でユニークな面接授業を展開しています。例えば、白神山地の動物や植物を学ぶ、富岡製糸場と絹産群の歴史を学ぶ、鹿児島湾で航海実習や海洋観測を行う、などの地方色豊かな授業があります。また全科履修生の場合、面接授業を受講するための往復交通費は申請すれば学割が適用されるため、学生の中にはお得な「学習旅行」を楽しむ方も多くいます。



田中義幸先生

2日間の授業を終えた学生たちの反応は、「現場にある教材から臨機応変に講義されていて良かった」「この野外授業が一生忘れられないほど楽しかった」などと好評でした。

今年の6月にも開催

田中先生は「種差海岸の雄大で美しい自然環境や風景を楽しんでもらうことを主眼に置いた授業でした」と話します。また、「放送大学の講義は放送が中心なので、今回の授業では教科書よりも自分の目を信じ、質問と回答のキャッチボールの中から学生が主体的に学ぶことを重視しました。学生からは想定外の質問も出てきて、私自身も楽しみ、勉強になりました」と話していました。

田中先生の講義は、今年の6月16日(土)、17日(日)も開講される予定です。応募者が多数となることが予想されるので、申し込みは早めです。

放送大学

教養学部 大学院

4月入学生募集中!!

※資料請求や出願はインターネットでもできます。

出願は平成30年
3/20(火)まで

問い合わせ
・資料請求

テレビ、ラジオ、
インターネットで
学べます

大学卒業資格
が取れる

自宅マイペース
で学べる

学びたい科目
だけ学べる

授業料の負担
が少ない

0178-70-1663

0172-38-0500

http://www.ouj.ac.jp 放送大学

「教養」は
生きる
チカラ。

「忙しい」を言い訳にしない。
「面白い」には、とことんこだわる。
そんな私に「学び」は好奇心を満たし、
充実した時間を約束してくれる。
そう、教養は「生きるチカラ」なんだ。